

オリーブ (果樹類の登録農薬も使用できる)

s 薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	炭疽病	梢枯病	ゆ合促進	カイガラムシ類	カメムシ類	マエアカスカシノメイガ	ハマキムシ類	オリーブアナアキゾウムシ
ICボルドー66DFL	M1		*c	—	◎							
クプロシールドFL	M1		—	—	◎							
トップジンM水㊟	1		30	2		◎						
トップジンMペースト	1		*b	3			◎					
アミスター10FL	11		30	2	◎							
セイビアーFL20	12		7	2	◎							
ペンコゼブ水	M3		90	2	◎							
マンゼート水	M3		90	2	◎							
スミチオン乳	1B		21	3								◎
アディオン水	3A		7	2				◎			◎	◎
アルバリン溶スタークル溶	4A		1	2				◎				
ダントツ溶	4A		1	2				◎	◎			◎
ベニカ溶	4A		1	2				◎	◎			◎
モスピラン顆粒溶	4A		7	1				◎				
トランスフォームFL	4C		7	2				◎				
モベントFL	23		7	2				◎				

㊟: チオファネートメチル含有剤 ◎: ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。*a: 幼虫発生期 *b: 剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後 *c: 発病前～発病初期 幼: 幼虫

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を見たら、初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 ペンコゼブ水和剤 600倍	
オリーブアナアキゾウムシ		・成虫は夜行性で、地際部の樹皮下に産卵することが多いので、成虫の捕殺や、地際部に紙を巻くなどして産卵を防止する。	幼虫がイボタ、ネズミモチ、オリーブの材部を食害する。 成虫は春から秋まで活動する。